

平成 24 年度「OB・OG と語る会」講師リスト

日 時：平成 24 年 7 月 24 日（火） 対 象：化学コース 3 年生

講師氏名	卒業年	勤務先	演題
松本 悟 氏	電化材化昭和 45 年卒業	京橋知財事務所 弁理士	特許制度の現状と弁理士の役割
廣瀬 久美 氏	物質工学科平成 15 年卒業 平成 17 年大学院修了	トッパン・フォームズ株式会社 ICT 事業統括本部中央研究所	会社の研究と大学で学ぶべきこと

OB・OG と語る会を振り返って

トッパン・フォームズ株式会社中央研究所 廣瀬 久美（2005 年工学府修了）

今回、恩師である窪田先生の依頼を受け、大学 3 年生を対象にした「OB・OG と語る会」の講師を務めさせていただきました。最初は、大学 OG とはいえ、まだまだ社会人経験が浅い自分が学生に何かを伝えられるのか、という不安でいっぱいでした。しかし、この会名が、「OB・OG が語る会」ではなく、「OB・OG と語る会」であるように、私の講演は、学生と語らう会（懇親会）の「前段」であるのだ、と自分に言い聞かせ講演に臨みました。

講演では、私がこれまでに行ってきた仕事内容（示温センサ、経膚吸収剤、導電性インク開発）と、これらの仕事を通して感じたこと、今だからこそ思う学生時代にやっておいた方がよいことについて話をしました。私だけが一方的に話し、学生が寝ている……という悲惨な状況にならないよう、出来る限りイラストや写真を用いて話をしたつもりです（昔の窪田先生の写真も使わせていただきました。学生さんのウケは良かったですよ）。

会社に入社して 8 年、これまでに分野の異なる 3 つのテーマを経験しましたが、全てに共通して必要だと感じたのは、「人と話をする」ということです。これは、一方的に話をするということではなく、人の気持ち（その場の雰囲気）を感じ取りながら、やり取りするということです。こんなことを言ってしまうと先生方に怒られてしまうかもしれませんが、勉強はやる気になれば何時でも出来る、ただし、人と通じる力は、サークル活動、ボランティア、研究室での生活等を通して培うものだと思うのです。だから、時間のある学生時代に様々なことにトライし、人と話をする力を養ってほしいと思います。



講演後の懇親会では、やっぱり飲みニュケーションですね、と冗談を言いながら沢山の学生さんが話をしに来てくれました。ちょうど就職活動や研究室選びという時期にさしかかり、自分の人生を真面目に考え出したというところでしょうか。何年か前の自分の姿と重なり、とても応援したい気持ちになりました。

気付けば、大好きなビールも一杯しか飲まず、学生との会話に夢中になっておりました。「OB・OG と語る会」になったかな、と思いながら帰路につきました。今回の会を通して、少しでも学生さんが何かを感じ取り、将来を考えるきっかけにしてくれたのであれば幸いです。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えて下さった窪田先生・關先生はじめ、同窓会関係者の皆様、学部 3 年生の皆様にご感謝申し上げます。

「OB・OG と語る会」は例年 7 月に実施されているため、会誌に掲載する原稿はどうしても原稿締め切り（7 月末）のギリギリになってしまいます。場合によっては内容紹介の掲載が間に合わない場合も生じます。そのような場合は次年度に掲載させていただくこともありますのでご了承の程お願いいたします。